

山口県感染症発生週報

(第41週:平成23年10月10日～10月16日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆**結核**: 第30週追加:1例(山口)。第31週追加:1例(宇部)。第36週追加:1例(宇部)。第38週追加:1例(山口)。第39週追加:4例(山口、宇部3例)。第41週:4例(下関、岩国、柳井、防府)。

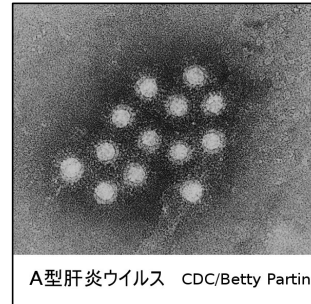
【3類感染症】

◆**腸管出血性大腸菌感染症**: 第41週:2例(宇部 O157:VT1VT2、宇部 O157:VT1VT2。いずれも第40週の患者の接触者で無症状です。)

【4類感染症】

◆**A型肝炎**: 第41週:1例(周南)。

◆**デング熱**: 第40週追加:1例(山口、発病は8月下旬頃で、感染推定地域はフィリピンです)。



A型肝炎ウイルス CDC/Betty Partin

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ◆**インフルエンザ**: 患者報告数は少数ですが、柳井、周南、岩国から報告がありました。迅速検査では、A型陽性9例、B型陽性2例、臨床診断3例でした。
- ◆**RSウイルス感染症**: 依然として過去4年間の同時期と比較して多い状況で推移しています。全国的にも例年と比較して多い状況ですので注意が必要です。
- ◆**咽頭結膜熱**: 例年と同程度の報告数ですが、長門はやや多い状況です。【警報レベル=長門】※
- ◆**手足口病**: 今年は大流行しましたが、今週警報レベルの終息基準値を下回りました。【警報レベル=長門、周南、柳井】※
- ◆**伝染性紅斑**: 長門は過去4年間の同時期と比較して4年ぶりに多い状況が続いています。【警報レベル=長門】※
- ◆**マイコプラズマ肺炎**: 報告数が多い状況です。全国的にも例年と比較してかなり多い状況です。

※警報レベル・注意レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuuhiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	39週	40週	41週	疾患名	39週	40週	41週
インフルエンザ	46	27	14	百日咳	0	1	0
RSウイルス感染症	59	41	49	ヘルパンギーナ	31	17	10
咽頭結膜熱	13	16	6	流行性耳下腺炎	51	43	30
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	63	61	70	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	195	226	292	流行性角結膜炎	3	1	3
水痘	18	34	12	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	127	111	65	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	16	15	19	マイコプラズマ肺炎	13	13	12
突発性発しん	26	30	35	無菌性髄膜炎	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	3	5	6	0	0	0	0	0	14
RSウイルス感染症	9	4	6	7	2	3	13	5	0	49
咽頭結膜熱	0	0	0	2	0	1	0	3	0	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	4	2	15	4	17	5	1	7	70
感染性胃腸炎	44	34	1	99	7	31	53	11	12	292
水痘	6	1	1	0	0	1	3	0	0	12
手足口病	2	6	8	22	5	4	2	13	3	65
伝染性紅斑	1	0	1	8	0	2	0	7	0	19
突発性発しん	7	0	2	5	3	8	3	7	0	35
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	1	0	0	1	1	1	6	0	0	10
流行性耳下腺炎	24	1	1	2	0	0	0	2	0	30
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	2	2	0	6	0	2	0	0	0	12
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※平成23年10月20日及び平成23年11月8日に追加報告がありましたので、データ部を修正しました。